丸山湿原自然観察会のご案内

観察委員会

まだまだ暑い日が続きますが、みなさまお元気でお過ごしのことと思います。 9月は植生遷移がしっかりと観察できる丸山湿原を訪ねます。

路線バスで行きますが、混雑を避けるため 1班と3班は武田尾駅から乗車。

2班と4班は宝塚駅から乗車して分散して行動いたします。

集合時間も昼食場所も異なりますので、添付ファイル「丸山湿原コース」の 2 枚のシート「コースタイム」と「コース図」を良くご覧ください。

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクを着用しおしゃべりは控えて下さい。 体調がすぐれない、体温が高い場合などは参加しないで下さい。 また熱中症対策として 各自水分補給を十分して下さい。

記

集合 9月11日(金)

1班と3班 10:25 JR 武田尾駅東側バス停に集合 10:35 発のバスに乗車
2班と4班 9:50 阪急宝塚駅北側2番バス停に集合 10:00発波豆行きのバスに乗車
当日朝のNHK 天気予報で兵庫南の午前または午後の降水確率が60%以上で中止

持ち物 弁当・飲み物・観察用具・雨具・行動食

服装 ハイキングスタイル・ハイカットのトレッキングシューズ (湧水が流れ出て、観察路に水が溜まっている所があります)

行程 添付ファイルを参照してください。

湿原保全のための3原則

持ち出さない

動植物の採取・捕獲は厳禁

持ち込まない

外部の植物の種子等の侵入を 防ぐ

踏み込まない

柵の内側には入らない



以上

丸山湿原について

4 班 遊上眞一

丸山湿原とは

宝塚市西谷の森公園の南側、標高 250~280m の谷間にある湿地の草原。

暖温帯に位置するため泥炭(未分解の生物遺骸)の堆積がなく、貧栄養、酸性の湧水により涵養され タヌキモ属やヌマガヤなどが生育する湧水湿原です。湧水湿原は西日本の太平洋側の丘陵地や低山地に広く分布。 ここが兵庫県下最大の面積で、湿原生物の出現種数も最大。

太古の姿は、照葉樹の極相林

ここの植生遷移は裸地⇒草地⇒陽樹林⇒陰樹林と遷移し、 7000 年前の縄文時代には、カシやシイなど陰樹の照葉樹の極相林。

人類の活動により、やせ地に

6世紀ごろに周辺で農耕が始まり、照葉樹は切られ、燃料確保などのため木材・柴・落ち葉が集められ、 里山林(二次林)の利用が盛んになる。それにつれ土地は徐々にやせ アカマツの疎林と禿山になった。

境野溶結凝灰岩が、風化してシルトに

ここは有馬層群という古い地層で、境野溶結凝灰岩が広く分布。

風化しやすく、風化した土は非常に細かい粘土に近いシルトとなり、谷底に流れ出し厚さ 1m 以上堆積。 二次遷移でやせ地となった江戸時代に本格的な湿原となった。

燃料革命により、遷移が進む

しかし昭和 40 年代まで続いた里山林の利用は燃料革命により、里山放置林となる。湿原周辺樹木の成長と湿原内への侵入により湿原に日蔭を作り、蒸散作用により乾燥化が進む。湿原面積が縮小しています。

今後の植生管理

これを食い止めるためには、木を伐り、草を刈り、落ち葉を拾うなどの植生管理をし、進行してゆく植物遷移を 退行させる必要がある。

またヌマガヤの繁茂により、湿原の日照条件が悪化し湿原生植物が減少するので、伐採する必要がある。 2006年から湿原を保全・維持する植生管理を実施し、生物多様性の高い湧水湿原として回復してきている。

丸山湿原の植物群落

イヌノハナヒゲ群落:湿原中央部の表土が見える湿潤な立地。背丈の低いサギソウ・トキソウ・ミミカキグサ・

ミカズキグサ・モウセンゴケ・コバノトンボソウ

ヌマガヤ群落 : 土砂の堆積した過湿な立地。背丈の高い美しい花カキラン・ミズギボウシ・サワヒヨドリ

サワギキョウ

イヌツゲ群落 : 乾燥化した湿原の周辺部。オオミズゴケ・アカマツ・イソノキ・アリマコスズ

丸山湿原の代表的な昆虫類・両生類

ハッチョウトンボ・ヒメタイコウチ・セトウチサンショウウオ

丸山湿原自然観察会 コースタイム

			1班・3班		2班·4班	
	バスに乗車		武田尾発	10:35	宝塚発	10:00
1	西谷の森公園口バス停			10:45		10:31
2	西谷の森公園を出発	WC	昼食	11:15		11:00
3	丸山入口駐車場に到着			12:00		11:40
	出発			12:30		
4	第一湿原視点場に到着			13:10	昼食	12:20
	出発				少 及	12:50
(5)	第一湿原西分岐			13:40		13:20
3	丸山入口駐車場	WC		14:20		13:50
2	西谷の森公園に到着			15:00		14:30
1	西谷の森公園口バス停			15:28		14:57
	バス到着		宝塚着	16:03	武田尾着	15:10